

STAFF 03



働きやすい田んぼと

魅力ある風土作りをしています。

農村振興部 農村整備第二課
技師 山本 優子
(平成25年 入会)

Q1.現在の仕事の内容を教えてください。

主にほ場整備事業、復興基盤総合整備事業に関わる業務の調査・計画を担当しています。ほ場整備事業では、農作物の生産性の向上、営農の効率化、維持管理の軽減などを目的として、水田を大区画化し、道路・水路の整備を行います。また、復興基盤総合整備事業では、東日本大震災で被災した農地の復興と併せて、大区画化などの整備を行います。働き易いほ場と、効率的に機能する用排水設備等の農業用施設を設計する事の難しさを噛み締めながら業務に励む毎日です。

Q2.現在の仕事の魅力を教えてください。

まだお尻に殻の付いたひよこ同然ですので、構造物ひとつ設計するにも、上司や諸先輩方に多くの指導を受け、過去の業務資料をあさり、やっと形になるといった具合です。それでも、自分が微力ながら関わった地区のきれいに整備された田んぼを見ると、やはり嬉しくなります。また、私たちの暮らす地域で行われてきた農業の歴史を深く知ることができるのも魅力の一つです。

Q3.女性として農業土木分野を目指している方へメッセージを。

近年「ドボジョ」という言葉もあるくらい土木業界にも女性が増えてきています。また、農業生産の場でも、「農業女子」が年々増えてきています。そして、今の農村では女性が働きやすい環境を作ることが求められています。女性の視点を持ってより良い農業農村環境を作っていくために、一緒に頑張っていきましょう！ちなみに、「水土里ネットいわて」は転勤がないので、それも魅力ですよ。



Q4.将来の目標を教えてください。

まだまだ知識も技術も未熟ですので、上司や先輩方にご指導頂き、私たちの暮らしを支える農業・農村の生産基盤をしっかりサポートできるように、日々精進していきます。そして、農業の場に女性も増えているということで、農業を通じた交流や地域コミュニティの活性化にも期待が持てるのではないかと考え、そのための環境づくりの一助になればと思います、日々の努力を怠らず頑張っていきたいです。